

れんめい和歌山

— 看護と政治のかけ橋 —

第 40 号

発行所

和歌山県看護連盟

和歌山市西浜1014-27

看護研修センター内

電話 073-446-5189

FAX 073-446-5205

発行責任者

谷 眞子

印刷所 野田印刷株式会社

謹賀新年



CONTENTS

新年ごあいさつ 2-3

県・支部別会議報告 4

県別リーダーセミナー報告 4

研修報告 男性看護師を対象とした研修 .. 5

看護管理者・教育者研修 5

ナース章受章おめでとうございます! 6

看護協会と看護連盟 6

青年部だより 7

連盟からのお知らせ・編集後記 他 8





新 年 の ご 挨拶



和歌山県看護連盟 会長 谷 眞子

明けましておめでとうございます。皆さまには良いお年をお迎えのことと存じます。

昨年は、東日本大震災や台風 12 号による豪雨被害等災害の多い年でした。被災された方々は、まだ平常な生活ができないで新年を迎えられたことでしょう。今年は、希望の年であることを願っております。会員の皆さまには、日頃から、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、看護連盟では、1 月末には、次期参議院選挙の候補予定者が内定し、選挙対策活動が開始されます。次期参議院選挙は、看護職の議員が空白で、新人の候補予定者での選挙ですので厳しい選挙戦になると思います。3 月以降候補予定者が、各都道府県を前回の高階選挙同様にホップ・ステップ・ジャンプと遊説に廻る予定になっております。具体的になりました折には、皆さまにお知らせいたしますので、ご参集いただき候補予定者への応援をよろしくお願い致します。

和歌山県看護連盟としては、第 22 回高階選挙より多く、3,200 票獲得することを目標に挙げております。これは、会員一人ひとりが自律して誰かを 1 人誘って選挙に行くことで達成できる数と考えます。国民の健康と生活を守ることを使命とする看護職の代表を国政に送ることの意味や、看護職の持つ問題を解決するには国政の場に代表を送らねばならないことにご理解をいただき、皆さまの更なるご支援とご協力を賜りますように今年もよろしくお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げて新年のごあいさつと致します。



日本看護連盟 会長 清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災は被災地のみならず、日本中に衝撃を与えました。命がけで患者さんを護った被災地の看護師たち、そして全国に広がった支援の輪、素晴しかったですね。

こんな国の一大事の中で政権交代後 3 人目の総理大臣が誕生しましたが、大震災・放射能被害からの復興、沖縄基地問題、TPP 問題など野田内閣の目の前には課題山積です。まずは総理にしっかりとリーダーシップを発揮していただきましょう。

政治情勢が不安定な中でも高齢化はどんどん進んでいます。世界一の長寿国を支えるために、看護職が働き続けられる環境を整え、その能力を医療機関の中だけでなく在宅においても活用できるようにするべきでしょう。そのためにも日本看護連盟は次期参議院選挙に看護の代表を送る活動を進めて参ります。皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



衆議院議員 あべ 俊子

和歌山県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩いていけるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

また昨年は国会では、厚生労働をはじめとした 4 つの委員会に身を置いて活動いたしました。所属以外の様々な委員会でも質問の機会を多く頂けたことから、会期中は地元岡山との往来も含めて毎週多忙を極めましたが、この国政活動が国民の皆さんの幸せや看護職の皆さんの現場が良い方向に変わったという実感につながっていくことを常に願い、日々取り組んでまいりました。

そして今年も変わらず頑張っている所存です。どうか本年も皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



参議院議員 たかがい 恵美子

和歌山県看護連盟の皆様、謹んで年始のご挨拶を申し上げます。いつも変わらぬ皆様方のご尽力に対し、改めて衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、東日本大震災をはじめ、豪雨による被害など甚大な災害に見舞われた年となりました。これらの災害は、多くの悲しみや苦難をもたらしましたが、一方で社会とのつながりの重要性やその価値観、命の大切さを再認識する機会ともなりました。かねてより、看護職は命を守り、社会のつながりの中で人々に寄り添って参りましたが、今このような時代だからこそ、頼れる専門職として、看護職に対する信頼や期待が高まっていることと思います。

どのように政局が不安定な状況にあらうとも、国民の生活は安定したものでなければなりません。今年は、診療報酬・介護報酬の見直し、社会保障と税の一体改革など社会保障制度に関して大きく動く年です。社会保障の担い手として、看護職の皆様が生き活きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動をしてまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



県・支部別会議報告

幹事長 前田 香代



H.23.12.5 日本看護連盟阿津常任幹事を迎え県支部別会議が開催されました。

会議内容は看護の代表を国会に送るため、次期参院選に向けての各支部の活動をより具体的に組み立てるため開かれた会議です。各支部より支部長、支部委員の方々 30 名が参加しました。

次回の参議院選では全国で獲得数 25 万票以上を目標に、和歌山県看護連盟の獲得予定数 3 千票を目標として各支部ごとの獲得予定票数を示し、目標に対して、達成するための戦略案、根拠を考えそれぞれに活発な意見交換を行いました。各支部毎に阿津幹事とヒヤリングを行い、その中で阿津幹事より、「票数、あと 20 票増やせるのでは？検討してください」「顔の見える票の見方をしてください、もっと丁寧にな」「若手会員をどうして動かしていくの？」など、より具体的な目標設定、戦略の立て方を共に考えていただき、各支部での活動方法がより具体的に見えた意見交換となりました。

次回参議院選へ目的を達成するためにがんばりましょう。



県別リーダーセミナー

開 催：平成 23 年 12 月 6 日 プラザホープにて
内 容：リーダーを対象とした自主性を促進させるためのセミナー
講 師：日本看護連盟常任幹事 阿津 公子 先生



「リーダーセミナー」に参加して

日本赤十字社和歌山医療センター 今村 麻美

看護の仕事について「こうしたい、ああしたい」という欲求や愚痴がたくさんある看護職員はたくさんいると思います。実際、愚痴るだけで、どうにもならないと諦めていませんか？私は諦めていました。自分の気持ちを伝える方法を考えようとしたことすらありませんでした。しかし、今回、リーダーセミナーに参加し、看護連盟の役割や私たちの要望がどんな風を実現していくのかを講義やグループワークで学びました。そして、看護の現場や仕事を少しでもよくするために私ができることは、まず「選挙に行く」ことだと気付きました。また、私のように看護の仕事に欲求や愚痴を抱えたたくさんの仲間にも選挙に参加してもらいたいと思いました。看護職員が一丸となれば、すごい力になります。看護の未来のために選挙に行きましょう！

研修報告

■ 男性看護師を対象とした研修

(H 23. 10. 1 プラザホープにて)

テーマ：男性看護師としてキャリアアップについて
ねらい：男性看護師として意欲的に働き続けるために
講師：愛媛県看護連盟 会長 植岡 道玄 先生



「男性看護師を対象とした研修の感想」

社会保険紀南病院 前田 哲

愛媛県看護連盟会長植岡道玄先生による講演とグループワークの研修に参加しました。講演では植岡先生の経歴や看護師としての経験を話していただき、男性看護師の数は年々増加傾向にあると知りました。今回の研修にも 50 名あまりの男性看護師が参加しており、グループワークで「どのようにスキルを進化させていきたいか」というテーマで様々な意見がありました。病棟における男性看護師としてどう感じているかという意見には全員が「あまり意識していない、むしろ女性スタッフの方が意識（男性スタッフに対しての配慮を）してくれているかもしれない」と結論がでました。また認定の資格を取ることがスキルの進化につながると話もできました。しかし、取得する為の時間や現在の認定看護師への待遇を考えると、様々な科を回り総合的なスキルを習得することが重要であるという意見に私は納得しました。今回、和歌山では初の研修で楽しく参加できました。

■ 看護管理者・教育者研修

(H 23. 10. 15 プラザホープにて)

テーマ：看護管理と政策
ねらい：管理者として政策に参画することの重要性について認識できる
講師：産業医科大学病院 副院長・看護部長 小竹 友子 先生

「看護管理者・教育者研修に参加して」

済生会和歌山病院 田中 祐子

今回産業医科大学の小竹先生の「政策を看護管理の中で活用するために」の講義を受けました。今までは直接政治と看護が繋がっていることを実感する機会があまりありませんでしたが、今回の講義を受け身近に感じる事ができました。

先生の経験を通して 7:1 看護体制を立てるために、タイムスケジュールを作成しその必要性を客観的に示し病院側の理解を得ることができ、導入に至ったこと、勤務体制について変則性勤務のことや 36 協定など私たち管理者が知っておかなければならないことを講義いただきました。現在私たちが行っている看護師の仕事は全て政策の中から生まれ、その範囲で看護実践を行っていることが分かりました。保健師助産師看護師法に倫理綱領が規定され、綱領に沿って看護実践が行われていること、自分たちの日常の勤務の根本になるものであることを改めて感じました。現状がどうなっているかを把握し、可視化することで、自分だけでなくたくさんの協力を得て改善していく手法を身につけることの必要性を学びました。日常の業務に追われていると、自分が常に政策に参画していることを忘れてしまいがちになる傾向があります。私たち管理者は病院で働くスタッフの労働環境や状態が労働基準法に沿ったものになっているか、しっかり管理することと常にアンテナを張り巡らせて周りの環境（政治情勢を知り制度がどう変わるのかなど）を知り、変化に合わせて機敏に行動できることが大切であることを実感しました。



平成 23 年度 和歌山県ナース章 受章おめでとうございます!



受章された連盟会員

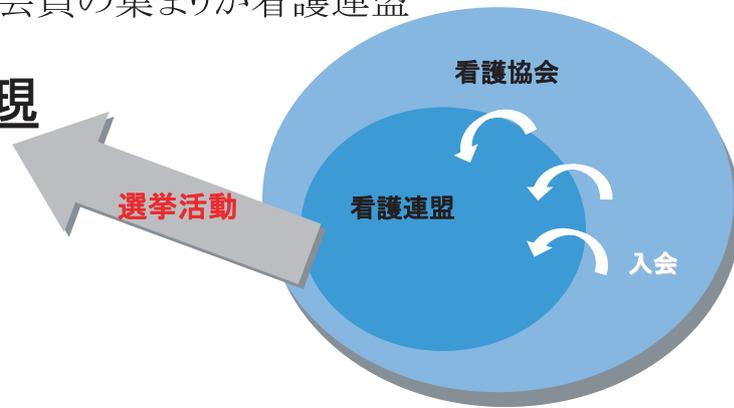
- 川 口 好 美 様 (日本赤十字社和歌山医療センター)
- 竹 内 安 則 様 (和歌山県立こころの医療センター)
- 田 中 正 子 様 (和歌山県立医科大学附属病院)
- 谷 口 紀 子 様 (和歌山県立医科大学附属病院紀北分院)
- 山 本 紀美代 様 (伊都振興局健康福祉部)

看護協会と看護連盟

看護協会の政策実現のために
活動をする協会員の集まりが看護連盟

看護政策の実現

看護連盟の強化が
政策実現への近道



- ・看護連盟は看護協会の目的達成のための政治活動を行う
- ・看護連盟の正会員は看護協会の会員である者とする

看護職の働く環境の向上、看護の質の向上など、私たちが望んでいることをかなえるためには、「制度を変える」必要があります。

制度を変えるためには政治力が必要。

だから、日本看護協会は、看護政策実現のために看護連盟を作りました。

看護連盟は「看護協会の目的達成」のために政治活動を行う組織です。

ところで、政治力はどうやって決まるのか。

何と云っても、「選挙で票を取ること」です。選挙は国民の代表を決めるしくみなので、当然です。選挙こそ政治参加の唯一の方法であり、唯一の力の見せどころです。

「自分たちの課題は自分たちで解決しよう」と考える看護協会員に、ぜひ看護連盟に入会してともに頑張ってください。



ポリナビワークショップ開催 !!

青 年 部
だ よ り

第2回ポリナビワークショップ
IN和歌山開催のお知らせ

2012

13時 会場
13時30分 開演
13時45分 講演
14時30分 グループワーク
15時30分 記念撮影
16時 閉会

テーマ：
楽しく仕事を続けていくための
キーワード！

勤労福祉会館プラザホープ
2012年2月28日（火） 13時開場

和歌山県看護連盟青年部

「WALK」和歌山県看護連盟青年部は、

- 看護現場の声を政治政策に結びつけ、よりよい医療の実現をめざす。
- 若手会員を中心にネットワークを築き、和歌山県の看護界を盛り上げる。
- 若い人達が看護の視点を用いて自主的に行動する。声をあげる。

の理念のもとに
ポリナビワークショップを開催します。

看護連盟青年部になって、 知ったこと・理解したこと・行動したこと

青年部 木下 学

連盟青年部って何をしているの？と言われることがあります。私も3年ほど前まで連盟の活動自体知りませんでした。3年前、兵庫県で行われたポリナビワークショップに参加するまでは、『看護ってこうだろ?! もっと病院を支える自分らを認めてくれよ! 仕事内容に給料がみあっていない!』などと、ビール片手に妻や同僚に愚痴っていました。しかし、ワークショップ参加後に気づいたのは、妻や同僚に愚痴っても何も変わらない。変わるのは財布の中身とお腹周りだけという事です。

私達の仕事は全て関係する法律によって決められています。『給料もっと上げてくれ!』って言っても、人事院給与制度医療職給料表。『もっとよい環境で働きたい』ても、医療法や診療報酬によって決められていたりします。だから、病院の師長や事務部門に文句を言ってもお門違い。何も変わりません。このような法律などは国会や議会などで「改正」されない限り変わらないそうです。自分たちの給与や働く環境は自分たちが声を挙げない限り、改正はありえません。つまり選挙に行くしかないんです。

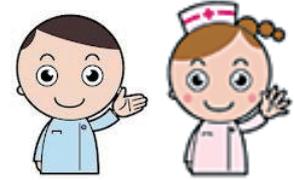
連盟青年部では、そもそも看護と法律・政策というものを身近に感じてもらう、知ってもらう、そして考えて行動できるように若い看護師さんに情報を発信しています。実際は、ポリナビの準備を主に行っています（文化祭の準備のようなメンバーとの連帯感を感じます）。反省会ではビール片手に看護を熱く語ったりしています。普段は会えない他施設のメンバーとの交流は日々の仕事のモチベーションをあげてくれています。青年部のメンバーは少数で縦長の和歌山県では、なかなか全エリアをカバーすることは難しいのが実情です。もし、少数でも興味もてたらポリナビに参加しませんか?メンバー一同温かくお待ちしております。

平成 24 年度 連盟会員 募集中!

年会費

皆様の入会をお待ちしています!

日本看護連盟会費	5,000 円
和歌山県看護連盟会費	3,000 円
計	8,000 円



私の《リフレッシュ法》

済生会和歌山病院 岡本 真紀



私のリフレッシュ法は、休みの日にコンサートに行くことです。

私は JYJ という韓国のグループのファンです。JYJ は自分たちで作ったオリジナル曲を唄っています。日本語の曲もあります。歌唱力はもちろん表情がとても豊かで、唄っている彼らを見ているととても楽しくて、本当に安らぎます。コンサートに行くもうひとつの楽しみは、コンサートで友人になった人たちと一緒に食事をしたり、お茶を飲みながらおしゃべりすることです。

コンサートに行き思い切り楽しんで、癒されて家に帰ります。翌日から、次のコンサートを楽しみに、一生懸命仕事をします。

「楽しいことは思い切り楽しんで、仕事も頑張る」それが私のモットーです。



会員みなさま、新年明けましておめでとうございます。

昨年、東日本大震災や台風 12 号による災害で、被災者のみなさまは、今もなお厳しい寒さに耐えながら生活されていると思います。新年を迎え改めて被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。本年も看護連盟は活動を続けます。ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

広報委員 田中 小田垣 宮井 井堰 原



〜〜 東洋羽毛のサービス 〜〜

- リフォーム …… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に着替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …… 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます

※ お布団の事なら、何でもご相談下さい。

東洋羽毛工業(株) 大阪営業所

和歌山店 〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F フリーダイヤル 0120-32-7766
※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました
 大阪店 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-13 フリーダイヤル 0120-88-2104



ホームページアドレス
http://www.toyomo.co.jp

